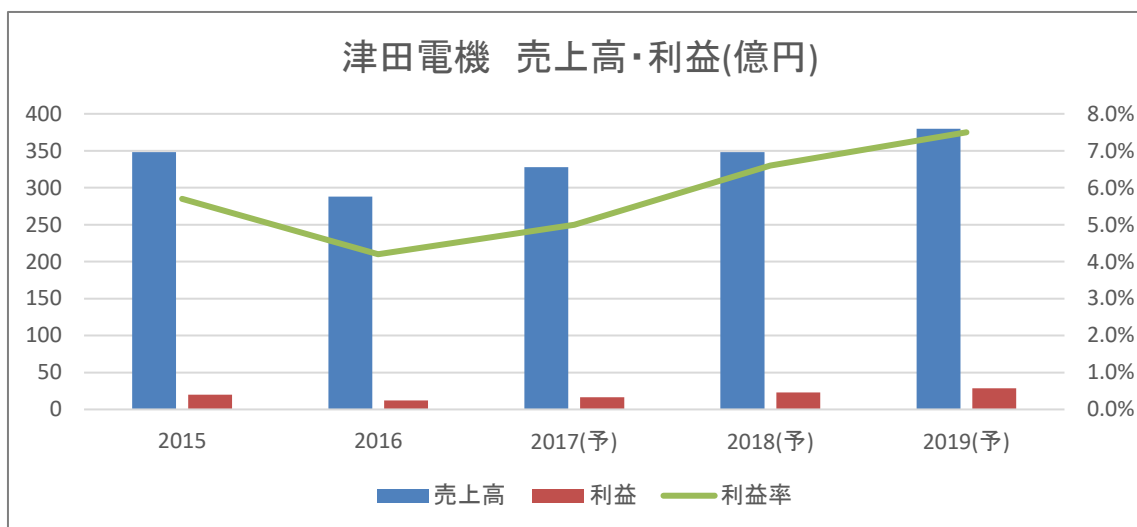


津田電機 売上高・利益(億円)

	2015	2016	2017(予)	2018(予)	2019(予)
売上高	348	288	328	348	380
利益	20	12	16	23	29
利益率	5.7%	4.2%	5.0%	6.6%	7.5%

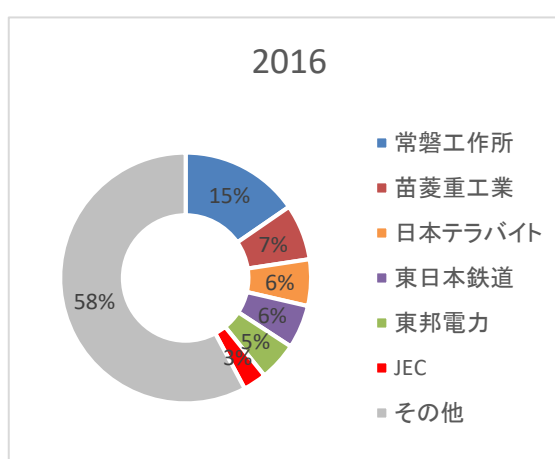
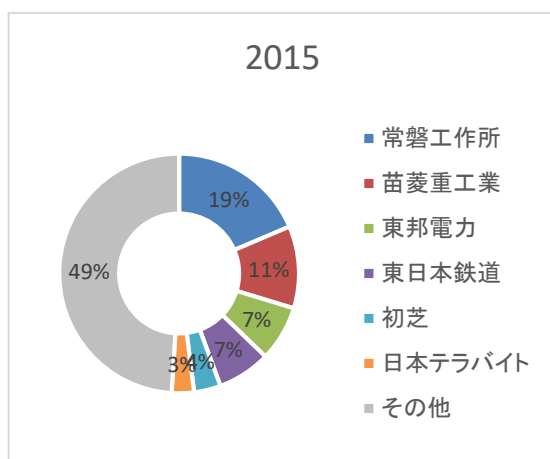


第61回 購買ネットワーク会(関東)
ケーススタディ 資料

津田電機 主要顧客リスト

2015			2016		
顧客名	売上高	割合	顧客名	売上高	割合
常磐工作所	64.7	18.6%	常磐工作所	44.4	15.4%
三菱重工業	38.6	11.1%	三菱重工業	20.7	7.2%
東邦電力	26.1	7.5%	日本テラバイト	17.3	6.0%
東日本鉄道	25.1	7.2%	東日本鉄道	16.1	5.6%
初芝	12.5	3.6%	東邦電力	14.4	5.0%
日本テラバイト	10.4	3.0%	JEC	8.6	3.0%

Top 6計	177.5	51%	121.5	42%
全社計	348	全社計	288	



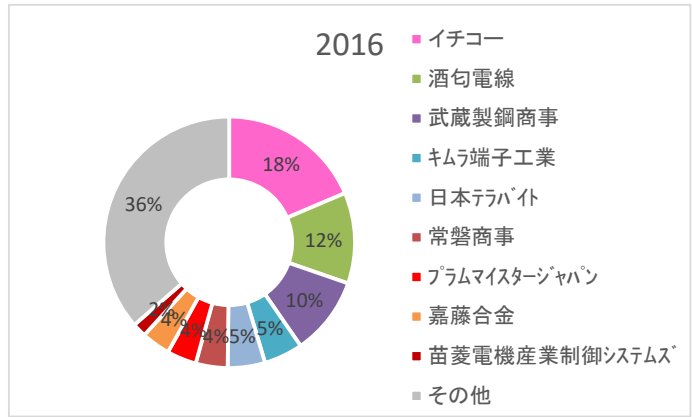
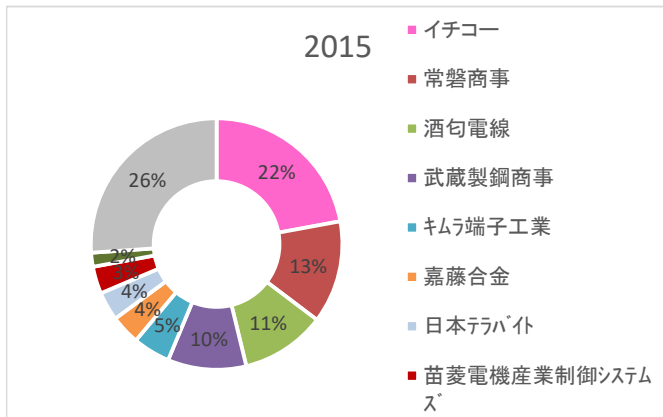
	売上高	概要
常磐製作所	10.1兆円	総合電機。鉄道・電力・金融分野などへのIoT導入に注力。
三菱重工業	4.1兆円	発電、造船、防衛など。主力事業で赤字相次ぐ。
東邦電力	6.2兆円	大手電力。復興計画で送電・配電設備に投資中。ITでの省力化に注目。
東日本鉄道	2.9兆円	大手鉄道。2020対応で鉄道制御・駅構内のIoT化に注力。
初芝	4.8兆円	半導体、電力・原子力、IT。半導体事業の売却でリストラ中。
日本テラバイト	8,800億円	米IT大手子会社。クラウドとAIを使った生産効率分析システムに注力。
JEC	6,900億円	プラント大手。製油所等の操業支援サービスなど新分野でIT活用。

第61回 購買ネットワーク会(関東)
ケーススタディ 資料

津田電機 主要サプライヤリスト

2015			2016		
サプライヤ名	購入高	割合	サプライヤ名	購入高	割合
イチコー	51.5	22.1%	イチコー	34.3	18.6%
常磐商事	30.8	13.2%	酒匂電線	21.6	11.7%
酒匂電線	25.4	10.9%	武蔵製鋼商事	18.6	10.1%
武蔵製鋼商事	23.5	10.1%	キムラ端子工業	9.2	5.0%
キムラ端子工業	11.2	4.8%	日本テラハイト	8.8	4.8%
嘉藤合金	8.9	3.8%	常磐商事	7.6	4.1%
日本テラハイト	8.6	3.7%	プラムマイスタージャパン	7.0	3.8%
三菱電機産業制御システム*	8.2	3.5%	嘉藤合金	6.8	3.7%
初芝デジタルソリューション	4.2	1.8%	三菱電機産業制御システム	3.3	1.8%

Top 9 計	172.3	74%	117.2	64%
全社計	233.2		184.3	



	売上高(億円)	当社への依存度	IoT対応状況	主要購入品
イチコー	698	4.9%	専用コントローラ中心。	センサ用コントローラ
酒匂電線	6,290	0.3%	電線素材類の購入。無線化で減少。	電線、ハーネス
武蔵製鋼商事	21,000	0.1%	大手鉄鋼傘下。盤用鋼板の購入。	盤用鋼板
キムラ端子工業	861	1.1%	圧着端子・コネクタ類。変わらず。	圧着端子、コネクタ
日本テラハイト	8,801	0.1%	金融公共向IT監視装置等。	情報端末等
常磐商事	645	1.2%	常磐グループ。諸材料の手配。	コントローラ、センサ
プラムマイスタージャパン	1,600	0.4%	汎用コントローラで世界IoT標準に対応。	コントローラ、センサ、スイッチ
嘉藤合金	1,939	0.4%	盤用鋼板の購入。	盤用鋼板
三菱電機産業制御システム*	2,700	0.1%	三菱電機Gr. 国内産業制御最大手。	コントローラ、スイッチ

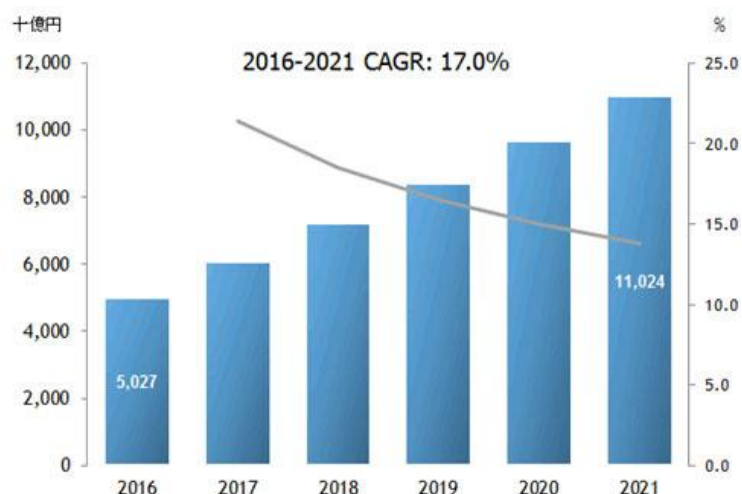
IoT関連情報

米調査会社IDC: (IDC) Worldwide Semiannual Internet of Things Spending Guide
(2017.1.4発表)

2016年の世界のIoT市場は17.9%成長し、7370億ドル(約85兆3000億円)になるとの予測。また、2015年からの5年間は年平均15.6%で成長し、2020年に1兆2900億ドル(約149兆円)に達すると予測。

2016年の産業別では、製造業が1780億ドル(約20兆6000億円)でトップ、運輸業が780億ドル(約9兆300億円)、電気など公益事業が690億ドル(約7兆9900億円)と続く。2016年に4位だったコンシューマ向けIoT市場は、2020年までに3位になると予測される。特に、コネクテッドカーやスマートビルディングといったあらゆる産業でのユースケースが想定される領域には、今後の5年間で投資が拡大するとみている。

IDC Japanは2017年2月20日、国内IoT市場におけるユーザー支出額について、2016年の見込み値は5兆270億円との調査結果を発表した(ニュースリリース)。また、2016年から2021年まで年間平均成長率(CAGR)17.0%で成長し、2021年には11兆237億円に達すると予測する。



IoT Global(世界のIoT推進団体「世界の産業IoT企業 トップ100」より抜粋)

順位	企業名	国名	分野
1	Terabite	USA	AI、コンピューティング、ビジネスコンサルティング
2	QPS	Germany	ビジネスプロセスコンピューティング
3	Fran	USA	テレコミュニケーション
4	Inside	USA	CPU、メモリ、コンピューティング
5	General Industry	USA	産業制御、電力制御、発電、航空防衛
6	Plummeister	Switzerland	産業制御、計測、自動車部品、電力制御
7	Aufhutz	Germany	発電、電力制御、産業制御、計測
8	Jim's	USA	PC、サーバ、クラウド
9	Karlsen	Sweden	テレコミュニケーション
10	USTelecom	USA	通信事業者
11	OTA	Japan	テレコミュニケーション、SI、産業IT
11	Circle	USA	インターネットサービス
13	SoftWorks	USA	OS、ソフトウェア
14	ForYou	China	テレコミュニケーション、無線通信
15	Yamatsu	Japan	SI、産業IT、コンピューティング
16	Tokiwa	Japan	SI、産業制御、自動車部品、電力制御